青少年の理解と関心を深める情報紙
季刊 No.1

青少年☆通信

発行 横浜市青少年育成センター
所在地 横浜市中区住吉町 4-42-1
関内ホール地下 1 階
TEL 045-664-6251
FAX 045-664-6254
URL http://yokohama-youth.jp/ikusei/
EMAIL ikusei@yokohama-youth.jp

特集 やれる人が、やれることからやってみる！
～野毛の老舗和食店が「子ども食堂」を始めた理由～

飲食店が立ち並ぶ大人の街“野毛”にある老舗和食店「村田屋」で、月の最終日曜日、「子ども食堂」が開かれています。800 件もの店が格子状にひしめき、夜に賑わう町として有名な“野毛”で、なぜ「子ども食堂」が始まったのか？ どんな人が、どんな思いで運営しているのか？ 70 歳を過ぎてから仲間たちと「子ども食堂」をはじめた「村田屋」の藤澤智晴さんにお話を伺いました。

世話好き、話し好きの下町気質 肩ひじ張らず

「子ども食堂というと、いわゆる“使命感”を持って、一生懸命やっている人たちが沢山います。それは尊いことだと思っています」と話してくれた藤澤さん。

子ども食堂を運営している人のなかには、訪れる子どもたちの背景や気持ちに寄り添い、励ましたいという気持ちが強く、「楽しみながら」という「野毛こども食堂」のやり方について批判されることもあったと言います。

ただ、藤澤さんたちは、「世話好き･話し好きの年寄が自然に接することが良いと思っているので肩ひじはらず、自分たちのやり方で楽しむことを大切にして」活動しているそうです。

「子ども食堂はやってみると別世界で、この面白さはやってみないと分からないと思っています。活動をはじめなければつながりようがない面白い人が連絡をくれたりすることもあります。自分たちの活動を見て、【あれなら俺にもできる】と活動を始める人が増えてくれたら、という思いでやっています」

旬を大事にアイディア出し合い手作りの運営

「野毛こども食堂」では、“旬の素材を使うことを”を大切にしています。子どもが魚や野菜を食べる機会が少なくなっていることも意識して、食堂のメニューにはなるべく魚や野菜を取り入れるようにしているそうです。

「食堂でごはんを食べた子どもが、『僕、お魚だーい好き！』と言ってくれることもあります。そんな声を聞けることが小さな喜びですね」と言う藤澤さん。次のメニューでは、岡山県出身の活動仲間の提案で、彼の郷土の家庭の味をイメージした岡山料理を提供する予定です。

やれることから、無理せずやってみる

「野毛こども食堂」では、特別な宣伝はしていません。

お店の前にそっと出してある、昔ながらの小さな看板が目印です。

「気づいた人が来てくれればいい、という思いでやっています。私たちは、無理せず、店にあるものを活かして、出来ることをしているだけ。“困っている人のために”という気持ちよりも、自分たちが楽しんでやっているだけ。誰が来てもいいし、どんな子どもでも大歓迎」とこぼれる笑顔で話してくれました。

今回お話を伺った方

藤澤 智晴さん

野毛柳通りに面した和食の店「村田屋」2 代目店主。

1945（昭和 20）年に開業し、75 年間、野毛の歴史を知る老舗です。

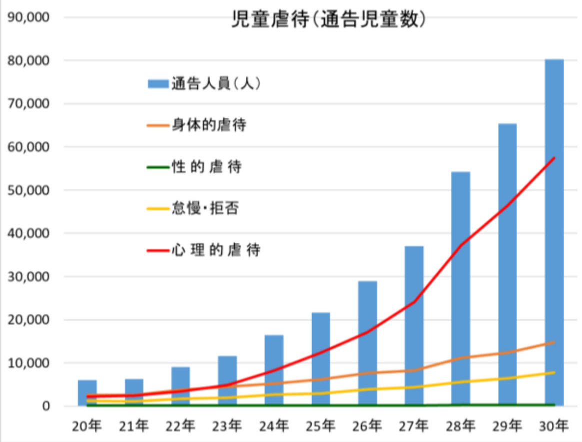
野毛とは、桜木町駅北側一帯に広がる飲食店街。800 件もの店が格子状にひしめき、夜に賑わう町として有名です。

●取材後記

開店準備の合間を縫ってお話を聞かせていただき、仲間とこれまでやったことのないことを楽しんでいる姿が伝わってきました。

最近は「夜の繁華街」のイメージがある野毛ですが、今でも、豆腐を作る豆の香りや小さなベーカリがパンを焼くにおいが漂う、「人が暮らす」街です。夏になれば神輿が練り歩く下町情緒が息づくこの場所で、飾らない多世代の交流が生まれているのを感じました。（石村）

データで見る青少年



出典：「平成 30 年における少年非行、児童虐待及子供の性被害の状況」（警察庁ホームページ）

右肩上がりの虐待件数（特に心理的虐待が急上昇！！）

親が子どもを虐待する痛ましい事件が後を絶ちません。

通告数の統計を見ると 10 年前の 6,066 件に比べ、約13倍の年間 80,0252 件に増加しています。

中でも「心理的虐待」が他の虐待の通告数に比べて大きく上昇しています。子どもの虐待防止オレンジリボン運動によると、心理的虐待とは、「大声や脅しなどで恐怖に陥れる、無視や拒否的な態度をとる、著しく兄弟間差別をする、自尊心を傷つける言葉を繰り返し使って傷つける、子どもがDVを目撃する」などを指すとしています。

子どもを虐待から守るために、早期の発見が大切と言われています。その為にも、地域全体で子どもを見守る"目"を育んでいきたいと思います。

オレンジリボン運動

スタッフ★ブログ

社会が人を育む

先月、東京で開催されるフォーラムに参加するために東横線に乗車した時のことです。

その日は、休日でしたが雨模様で乗客も少なく、私は運良く座席に座ることができました。

隣の席が一つ空いていましたが、間もなくして小学生の女の子が隣の席に座りました。その子の父親は少し離れた乗降ドア付近に立っていました。すると、車両の奥の方から杖を突いた老人が空席を探すように歩いました。その子は、その老人が視野に入ると目の前に来ると同時に「どうぞ！座ってください」と照れ臭そうに声を掛けました。老人も嬉しそうに「ありがとう」と少女にお礼を言って座り、その子は直ぐに父親のそばに行き照れ隠しなのか父親に抱き着いていました。父親は、少女の頭を撫でて褒めていました。少女の行動は称賛に値するのだけれども、それ以上に「ありがとう」の言葉に誇らしげな顔をしていたのが印象的でした。

このような場面は良くあることと思いますが、自分の行動（行為）が人に受け入れられたり認められたりすることで、子どもたちは少しずつ心を成長させていくのだと感じました。自分自身の努力で結果を出し自信を付けていくことも大切なことですが、他者から認められて成長していく機会もまた重要ですね。成長していける機会を我々も推進していきたいと感じた出来事でした。

その日１日は、なんだか幸せな気分でした(*'▽')

★ユースライブラリー

青少年に関する書籍を配架しています。スタッフにお声掛けいただけたらオススメの本もお伝えします。貸出も行っています。お気に入りの一冊が見つかるかも・・・！

★大小の会議室と音楽スタジオ

大会議室（約80人）、小会議室（30人、15人）と活動内容に応じて選べます。その他、和室（16畳）、音楽スタジオ（15人）など多目的な活動を支援します。プロジェクターや大型ミラー、ドラムやアンプ機器など貸出物品も充実しています。利用料もリーズナブルです！是非ご利用ください！

★活動相談・情報提供

青少年に関する研修・講座の組み立て方や講師の紹介、地域の青少年活動の事例紹介や青少年関係の統計など活動相談や情報提供を行っております。

▶「青少年」のことなら、まず育成センターにご相談ください！

【お問合せ】電話：045-664-6251
メール：ikusei@yokohama-youth.jp

★よこはまユースのFacebookにご登録ください！
育成センターの研修・講座等の最新情報が見られます。